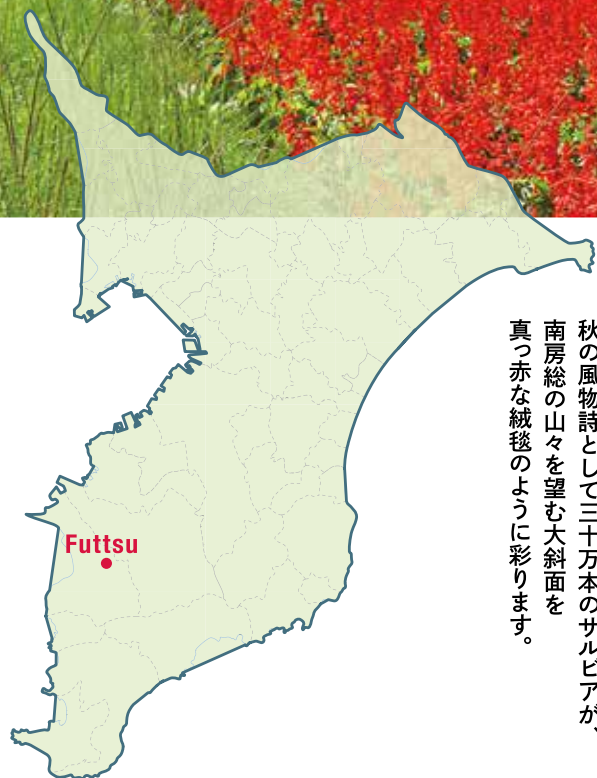


Governor's Monthly Communication

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)



マザー牧場「花の大斜面・東」
第五グループ富津市にある「マザー牧場」。
秋の風物詩として三十万本のサルビアが、
南房総の山々を望む大斜面を
真っ赤な絨毯のように彩ります。

CHIBA
月信

10

October 2018



BE THE INSPIRATION

経済と地域社会の発展月間
米山月間

Rotary



地区行動指針 「伝統と未来」 ～誇りと連帯感～

国際ロータリー第 2790 地区

2018-19 年度 ガバナー 橋岡 久太郎 (佐倉中央RC)



松戸ロータリークラブ ガバナー公式訪問 2018 年 8 月 1 日

－おかげさまにて 3 ヶ月－

記録的な猛暑もやっと落ち着き、ようやく過ごしやすくなって参りました。

今年度も 3 ヶ月が過ぎました。8 月 1 日から始まった公式訪問で 83 クラブを順に訪問させて頂いておりますが、クラブの皆様方と触れ合い、各々のクラブの個性あふれる奉仕親睦活動の状況を伺う貴重な時間に感謝申し上げます。

今月は、「経済と地域社会の発展月間／米山月間」です。経済と地域社会の発展については良き機会に私見を述べさせて頂くとして、今月は日本独自の米山奨学事業について考えてみます。時折「裕福なアジアの子弟を支援するよりも日本の学生を支援したほうが良いのではないか」「奨学生の国籍が偏っている」というような声を耳にしますが、今一度米山奨学事業が発足した経緯と目的を振り返っていただきたいと思います。米山記念事業は 1952 年に東京ロータリークラブが「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」との思いで、ロータリー創設に貢献した米山梅吉氏の功績を記念して米山奨学制度を発足しました。5 年後には国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され、全国組織となりました。米山奨学金制度と他の奨学金制度の大きな違いは、米山奨学金制度は単なる経済支援ではなく、

将来母国と日本の懸け橋となる若き優秀な人材を支援するという民間による平和外交の意味合いが強いのです。米山奨学生は世話クラブとカウンセラーにご協力頂き、月 1 回の例会出席などを通じて交流し、国際交流だけではなくロータリー精神も学ぶ機会になります。奨学生にとってもカウンセラーという心強い後ろ盾があり、異国での生活でも不安なく過ごすことができます。

本年度も約 800 名の奨学生が日本で学んでいます。当地区は 27 名の奨学生を受け入れております。彼らを支えるのが皆様のご寄付です。今年度、米山記念奨学会への寄付目標をお一人 15,000 円とさせて頂きました。未来の国際親善を担う優秀な若者を育てるという主旨をご理解いただき、皆様の更なるお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、10 月 27 日(土)～28 日(日)に地区大会を開催いたします。

地区内のロータリアンが一同に会し親睦を深め、学ぶ貴重な機会です。皆様方のご参加をお願い申し上げます。地区大会第 2 日目(28 日)は、米山梅吉翁と親交のあった阿部志郎先生にご講演頂くことになっております。米山梅吉翁のご近所に住み、米山翁に憧れた少年は現在、社会福祉の第一人者でいらっしゃいます。米山記念奨学委員会の富一美委員長のお計らいに感謝申し上げます。



ご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区

研修サブリダー

パストガバナー 関口 徳雄 (浦安 RC)

本年度研修サブリダーとして、橋岡ガバナーを支えながら、米山記念奨学委員会(以下米山奨学会)のアドバイザーの立場で、地区奉仕活動に参加させていただきます。

ところで毎年 RI 会長が変わるたびに新しい「RI テーマ」が発表されます。今回はこの RI テーマの意義目的及び我々の奉仕活動に及ぼす影響を考えてみたいと思います。

RI のテーマとは、RI 会長から毎年発表されるロータリーメッセージであり、前年の GE 時の国際協議会において発表されるものです。

このテーマは、ロータリー年度を通じて、奉仕の実践に最も重要なもので、会長の抱負を端的に物語ると共に、そのロータリー年度の進路を示すもので、古い会員はこれを RI の「ターゲット」と呼ぶ人もおりました。

RI の役員であるガバナーは、あらゆる適切な方法によってこのテーマを各会員に知らしめる努力をしなければならないし、ガバナーが掲げる地区目標や目的は、この RI テーマと関連させなければならないのであります。このテーマは、RI 定款細則などいわゆる三則には載っておりませんが、ロータリー章典に規定され、「RI テーマは、使用すべき唯一のテーマであって、他のテーマの使用は控えなければならない」となっております。従ってガバナーの地区テーマも差し控えることといわれておりましたが、他地区はともかくわが地区では伝統的に、私のガバナー年度も含めてほぼ毎年地区テーマがあったような気がします。

さて本年度の RI のテーマは、「BE THE INSPIRATION」であり、和訳は「インスピレーションになろう」というものです。例によって、和訳の巧拙が問題となっておりましたがここにきて少しは落ち着いたようです。私なりの解釈は、「行動を通じて、影響力を行使しよう」あるいは「影響力を行使できる人になろう」です。

ところでクラブの奉仕活動をしている時、あるいは地区の委員会活動をしている時にもそうですが、この RI 会長のテーマが常に頭にあって具体的な奉仕活動に生かしてきたかどうか大変疑問です。私の反省を込めて申し上げますと、現役のガバナーの時は格別として、普通の会員の場合毎年のテーマが頭に残っているのは、最初の 1～2 か月でしょうか。

去年のテーマは?一昨年のテーマは?と聞かれたらすぐに答えられる人は何人いるでしょうか。

誰もがクラブでの奉仕活動に夢中でこの奉仕活動の

中に意識的に RI テーマを生かし取り込んで行動しようとする人は少ないでしょう。

しかしながら私はそれで良いとは思いませんが、ある程度やむを得ないものと思います。なぜなら各人が奉仕活動に熱心に取り組んでいる中に意識しようがしまいが結果的に RI テーマに沿う言動がみられるからです。

そしてまた思うに RI は奉仕活動の継続性を掲げており、それでいて毎年テーマが変わるのですから、どこか整合性が取れていないような気がするからです。

更にそんなに印象が薄いのであるなら、いっそのこと毎年のテーマを固定し、例えば二大モットーである「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」に絞ってしまうか、どうしてもというなら RI 会長のテーマをサブテーマにしてしまうのも一案かもしれません。

さて米山奨学会ですが、財団設立 50 周年記念行事が終わりました。

以前ロータリー歴の浅い会員に米山奨学会のことをどの程度知っているのか試してみたところ、これが RI のプログラムだと思っていたことと、有名な米山梅吉氏が設立したと思っていたとのことでした。なるほどロータリー財団と同じようなものだと思っていたようです。しかし米山梅吉が設立したと思うのは無理もないでしょうね。何せ米山梅吉翁は日本のロータリーの創始者ですから。

過日開かれたクラブの委員長を集めた地区セミナーでも申し上げたのですが、私は 9 月 6 日から公益財団法人米山記念奨学会の理事となりましたので、地区の運営や事業はベテランの富委員長に任せ、もっぱら財団の情報提供に徹する所存です。

そのようなことから「ロータリーの友」の「よねやまだより」を読んでいたところ、小沢一彦理事長の記事がのっていました。内容は 50 周年の節目に触れながら、4 年前に RI 理事会の決議により学友の定義が拡大され「米山学友」が「ロータリー学友」になったこと、つまりインターアクト、ローターアクトや青少年交換学生などと同じになったとのこと、また現役の米山奨学生のみならず、米山学友の支援にも力を入れるべきとのこと、更には次の 50 周年に向けては「いかに奨学生を増やすかではなく、奨学事業をより充実させることに重点を置くべき」と述べていることです。



ご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区
地区米山記念奨学委員会
委員長 富 一美 (成田空港南 R C)

この7月より改めて委員長の職務を拝命させていただきました。

ここに至るまでに2年間の委員長の経験を積ませていただきましたが、お恥ずかしながら、それでもまだまだ米山の活動のすべてを掌握しているとはとても言えません。やればやるほどこの事業の奥の深さを実感しております。

皆様のご寄付(第二の奉仕)のおかげで毎年たくさんの奨学生を採用することができています。また、お世話をさせていただく世話クラブにおいても奨学生との交流を通して多くの成果を上げていることを目の当たりにしている今日です。

ロータリー米山記念奨学事業は、1952年に米山梅吉翁の遺徳を偲び、東京ロータリークラブの国際奉仕事業として誕生し、以降日本全国のロータリアンによって支えられてきました。1967年に財団化を果たしてから50年が経ち、その成果である学友(元奨学生)は、ロータリーとの交流を通じて奉仕の心を育て、今世界を舞台に活躍しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大で、今後海外からより多くの留学生を受け入れようとする日本の政策にも大きく貢献しています。現在では年間800人以上、126ヶ国の国と地域、累計で20,601人の学友を羽ばたかせておりますが、その主目的は人材育成事業であり、国際奉仕事業なのであり、創設以来一貫して「人づくり」に取り組んできました。その生きた証として、韓国では大韓民国特命全権大使として崔相龍(チェ ヨンサン)氏と権哲賢(クオン チョルヒョン)氏など。台湾ではガバナーを務めた林華明(リン カミン)氏や女性として初めて国立博物館館長に就任した林曼麗(リン マンレイ)さん、村上春樹

の作品を世界で最初に翻訳し台湾に紹介した頼明珠(ライ ミンチュ)さんなど。

中国では中国企業と駐在日本人のためのホットラインを開設した国際弁護士の姫軍(キ グン)氏など。モンゴルでは日本の発展やその原因となった教育にあこがれ、「国づくりは人づくり、人づくりは教育」と考え、日本式高校「新モンゴル高校」を設立し、日本をはじめとする海外の大学に数多くの留学生を送り出しているジャンチブガルバドラッハ氏など。世界中の学友の中には名前を上げたら数えきれないほどの優秀な学友が活躍しております。

この事業はすべて日本の約9万人のロータリアンのご寄付で支えられております。

ロータリーの奉仕はお金ではなくて心の奉仕です。しかしながら米山奨学事業にはどうしても資金が必要です。資金なくしてはこの奉仕は成り立たないわけです。ただ、この奉仕はお金さえ出せばよいというものでは決してありません。お金を出す人(ロータリアン)の愛の心がお金を受ける人(奨学生)の心に通じ、またお金を受ける人(奨学生)の心がお金を出す人(ロータリアン)の心に響かなければならないのです。米山梅吉翁の言葉に「ロータリーの奉仕は目立たないところに妙味がある」というお言葉がありますが、その心と心とはロータリーという世界で温かく結ばれているからです。これからも世界平和の為に一人でも多くの優秀な奨学生を採用し育てていきたいと思いますので、皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

米山委員長セミナー報告

地区米山記念奨学委員会 委員長 富 一美

8月25日(土)総出席者数約100名を迎えて2018学年度米山記念奨学委員長セミナーを開催致しました。

橋岡久太郎ガバナー、PG 関口徳雄 R 米山記念奨学会理事(9月正式就任)のご挨拶でスタート。学友会に加え27名の米山奨学生も出席。このたびは、特別企画と致しまして、ホームカミング制度により第2代よねやま親善大使の于咏(ウ エイ)さんを招聘して基調講演をお願い致しました。『報恩・奉仕・繁栄』というテーマで、よねやま親善大使として70回以上にも及ぶ于咏(ウ エイ)さんの感動的な講演に、出席者の皆さんも聞き入っておりました。基調講演の後、当地区の米山奨学生達との交流会もしていただき、改めて堪能な語学力と行動力に敬意を表します。

- ◆報恩:恩を知る、感謝の気持ちを持って、恩返しをする。
- ◆奉仕:職業を通じて、人々のため、社会のためになる。
- ◆繁栄:報恩と奉仕を実践することによって、自分、会社、社会の繁栄を目指す。

米山学友そしてロータリアン双方の立場から米山奨学事業の意義と成果を幅広く披露していただき、プログラム後半のクラブ米山委員長のグループディスカッションにも熱が入り、大変有意義な米山記念奨学委員長セミナーとなりました。



<ホームカミングによる基調講演> 【報恩・奉仕・繁栄】

第2代よねやま親善大使 于 咏 (ウエイ)

「米山記念奨学」の名称は、日本ロータリーの父である米山梅吉氏に由来するもので、1952年東京RCの会長古沢文作さんは、梅吉翁の遺徳を記念し「米山基金」を提案しました。戦後10年も経っていない日本はまだ物資が乏しく、国を再建している最中ですが、なぜ自分の国の若者ではなく、あえて外国人留学生を支援するのでしょうか。そこに、先輩ロータリアンの夢があり、それは「世界平和」への強い信念願いがあったからです。

中国の諺で、「徳は孤ならず、必ず隣があり」。徳積みの善行を行えば、必ずそれを認めて賛同する人が出てくるという意味で、東京RCからスタートした「米山基金」は、わずか5年間で「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され、日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、更に60年間の歩みで、国際ロータリーにも認証された日本ロータリーの唯一無二の大事業となっています。

米山は外国人留学生を支援する国内最大規模の奨学金へと発展し、2018年度の奨学生数は800人、これまで世界126ヶ国と地域からの累計で2万人を超える留学生を支援してきました。しかも、ロータリーの品格と高潔さを貫き、米山記念奨学事業も、将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援している「人づくり」の事業なのです。

米山奨学期間が終わった後も、学友会という形で、学友同士の友情を深め、ロータリーとの接点を持続しています。現在、日本国内に33、海外には9つの学友会が設けられています。中には、米山との出会いがきっかけで、ロータリーの組織の一員となった学友が220名を超えています。更に、米山学友を中心に5つのクラブも発足し、その中の「台北東海ロータリークラブ」は、例会時、日本語を公用語にし、もはや日本を第二の故郷に見なしているのです。「滴水之恩、湧泉相報」—しずくのような恩恵を受け、湧き泉の如く恩返しすべし。米山学友達は、積極的に米山に寄付し、後輩の奨学事業に寄与しています。

私も素晴らしい先輩たちに見習い、毎年米山功労者になることを誓いました。更に、旅先のインド、ヨルダン、イスラエル、キプロス…至ったところのロータリークラブを訪問し、日本独自の米山奨学事業の素晴らしさを

PRさせていただいております。その他、三年間、米山親善大使として日本全国約70回の講演をし、この事業の素晴らしさを語らせていただきました。

しかし、20数年前、来日当初、私は日本語が全く話せませんでした。貧乏で飛行機に乗れず、船で日本に渡り、船酔いで死ぬほどの思いをしながら日本にやって参りました。当時の中国はまだ貧乏で、両親約3万円の月収で、家族の全財産をかけて、私1年間の学費と生活費である150万円を捻出してくれました。当時の私は社会の最低層にいて、掃除や新聞配達などアルバイトを懸命にし勉強に励んでいました。

ラッキーな私は、人生最大の宝物、ロータリー米山と出会いました。毎月の14万円、いわば、毎月140時間の自由時間をいただいたことになり、そのお蔭で博士号も取得しました。これは、私だけでなく、2万人も超える奨学生の共通したサクセスストーリーなのです。

即ち、米山奨学金は単なるお金ではなく、若者に与えている夢と希望なのです。更に、皆様ロータリアンとの出会いによって、なるべき人間像が具現化され、皆様は良き人生の模範として、成功した人生とは何かを具体的に示されたのです。You raise me up, Rotary! 26万人も超える在日留学生の一人であった私は、海辺の一粒の砂のような存在でした。但し、この砂はとてもラッキーで、美しい貝殻であるロータリー米山に出会い、皆様から栄養を頂き、磨かれて洗練され、真珠まできれいに変身し成長して行きます。

「報恩・奉仕・繁栄」。恩を知り、常に感謝の気持ちを持って、人々のため、社会のために超我の奉仕を行い、社会の繁栄と世界の平和を目指し実現していく。そして、ロータリーと出会ってから、私は人間の生きる目的を見出しました。1. 自ら成長すること 2. 人々のために尽くすこと です。ロータリーは、この二つの目的の集大成であります。これがロータリー! 人間として成長しつづける舞台なのです。この素晴らしい舞台に立たせていただいているのは、全て皆様のお蔭です。皆様との出会いは、私の人生の宝であり、皆様は世界中の2万人に感謝されています。

本当にありがとうございます!

～ プロフィール ～

1996年9月～1998年3月	愛知淑徳大学留学生別科
1998年4月～2008年3月	名古屋大学大学院 心理学博士
2005年4月～2007年3月	米山奨学生 名古屋中RC
2014年5月～現在	愛知ロータリークラブEクラブ 創立会員 地区ロータリー財団委員会委員 (2014-15)、地区学友委員会委員 (2016-18)、 地区戦略計画委員会委員 (2018-19)、クラブ幹事 (2017-18)
2015年7月～2018年6月	第2代よねやま親善大使、7回目米山功労者
2018年8月～現在	ジブラルタ生命保険(株)中部営業本部 営業所長



研修サブリーダーを拝命し

国際ロータリー第 2790 地区
奉仕プロジェクトサブリーダー
パストガバナー **宇佐見 透** (千葉幕張 RC)

国際ロータリー第 2790 地区会員の皆様、今年度橋岡ガバナーより、奉仕プロジェクト委員会と共に歩むよう、研修サブリーダーの役職を拝命した宇佐見です。1 年間宜しく願い申しあげます。満を持して橋岡年度がスタートしました。異常気象による猛暑の夏にもかかわらず、橋岡ガバナーは公式訪問を開始されており、若きリーダーの積極的活動は地区の活性化、クラブの活性化に繋がるものとして大いに期待するところです。

橋岡ガバナーは今年度、地区 DLP において、ロータリアンの活動基本である奉仕活動を促進する委員会として、社会奉仕委員会（清水 隆委員長）、職業奉仕委員会（鶴沢和広委員長）、国際奉仕委員会（高橋潤一委員長）、青少年奉仕委員会（金本元章委員長）と 4 委員会を統括する、奉仕プロジェクト統括委員会（平野弘和統括委員長）の組織案を昨年 12 月に諮問され、エレクトによる DLP 構想として、ロータリアンの中核をなす奉仕プロジェクト委員会が、国際協議会を経たのち具体的指針と共に創設されました。即座に平野奉仕プロジェクト統括委員長は、上記委嘱予定者である 4 名の委員長を招集され、それぞれ委員会が個別に活動することなく、互いに連携を取り合い、全クラブがどのようなプロジェクトを立ち上げようとも、事業内容の向上支援やクラブからの要請等々、サポートさせて頂く運営体制を構築しています。更に地区補助金を管理運営する地区財団委員会との連携を密にし、地区補助金の活用促進を奨励することで、クラブの活性化と国際ロータリー財団への理解が深まり、ひいては財団年次寄付の増進へ繋がるように計画されています。各クラブが行う奉仕プロジェクトへの地区補助金申請は、昨年度まで地区財団委員会が単独で審査を行っていましたが、今年度からは奉仕プロジェクト委員会へ提出願い、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の 4 合同委員会で細部まで協議し、更にグレードアップに繋がる付帯意見を添え、地区財団委員会へ伝えます。地

区内 83 クラブ全てが何らかの奉仕プロジェクト事業を行えるよう 9 月にはセミナーが実施され、詳しいご説明があると思います。また橋岡ガバナーはロータリー研修委員会に、ガバナー補佐と共に地区内 14 グループの情報研修会で「ロータリーが目指す奉仕（サービス）とは何か」を再考し、奉仕活動による、より良い社会を築くよう要請されました。奉仕プロジェクト統括委員会は地区研修委員会と共に、会員の皆様と職業奉仕についての理解を深めたいと考えています。私に与えられたミッションは、これらの状況から奉仕プロジェクト委員会と研修委員会及び財団委員会との連携、サポートを促進する役職と捉えています。

また今年度バリー・ラシン RI 会長が掲げられた RI テーマ「Be The Inspiration」は 100 余年におよぶロータリーの歴史と「四つのテスト」の実践から、ロータリー活動の真の姿を理解すべきと示されたもので、橋岡ガバナーは日本のロータリーが理念を忠実に守り、実践してきた伝統を継続、発展すべきとの思いから、地区テーマ（地区行動指針）に「伝統と未来」を掲げられました。2013-14 年度元 RI 会長 ロン D. バートン財団管理委員長は、ロータリーの全ての会員に、ただ例会に出席し椅子を温めることでは無く、ロータリーの活動に積極的に参加しインスピレーションを与えてくれるよう、それには DDF を活用しての奉仕プロジェクトの推進を訴えられています。残念なことに多くのロータリアンがロータリーについての十分な知識を理解せず、会員である恩恵を享受していません。いまこそ私達は、真剣にロータリーの目的（綱領）を再認識し、ポール・ハリスが思い描いた、この地球上のあらゆる国の人々が手を取り合い、自分を超えた素晴らしいことを生みだせるという確かな一歩を踏み出す時が来ておるように思えます。



奉仕プロジェクト統括委員会活動について

国際ロータリー第 2790 地区
奉仕プロジェクト統括委員会
委員長 **平野 弘和** (木更津RC)

奉仕プロジェクト統括委員会の役割は、地区内 83 クラブの皆様に奉仕プロジェクト実践の重要性についてご理解をいただき、様々な奉仕活動の推進を図っていただくための活動をする 것과承知しています。

今年度は、ロータリー会員にとって奉仕活動はなぜ重要なのかを理解していただくために、「ロータリーの目的」に立ち返り、お話させていただく機会を設けます。在籍年数の長い会員にとっては「今さら」という思いを抱かれるでしょう。しかし、奉仕活動を活性化し、ロータリー本来の活動を行うためには、常に「ロータリーの目的」に立ち返る必要があると考えます。

私は、前年度クラブ情報研修委員長を務めました。新会員の入会オリエンテーションの際に「ようこそ ロータリー」という冊子を使って説明をしました。これにはロータリー設立の経緯、歴史、ルールその他、盛りだくさんの内容が記載されています。説明を終えて思ったことは、新会員は果たしてここに記載されていることを理解できるだろうか、また、実行しようとしたら恐らく息が詰まり、例会に出てこなくなり、やがては退会してしまうのではないかと心配になりました。新会員として必ず守ってほしいことを一つだけ取り上げて、そのことだけは必ず実行するように話したほうが良いのではと思いました。それでは最も守らなければならないことは何かということです。ベテラン会員からお叱りの言葉が聞こえてくるようですが、ロータリー会員として必ず守ること、それは「ロータリーの目的」を理解し、実践してもらうことです。それはクラブのあらゆる活動に通じるでしょう。

地区奉仕プロジェクト統括委員会の活動についても同様に、クラブの皆さんに奉仕プロジェクトの実践事例を紹介するだけではプロジェクト推進の役割は果たせないだろうと思います。どんな思いが具体的な奉仕プロジェクト立案につながり、実際に実行していったかということが重要だと思っています。奉仕プロジェクトの実践事例はあくまでも「結果」であり、それに至った「動機」が重要であると考えているわけです。

9月16日に「奉仕プロジェクト推進セミナー」を開催しました。このセミナーの目的は、この「動機」付けです。基調報告として原田義之氏をお招きしました。原田氏は会社員当時タイに駐在し、北部のアカ族に出会います。タイにおいても少数民族であり、経済的にも貧しく子どもたちの教育機会にも恵まれていません。原田氏は会社を定年退職されると、タイに赴き、アカ族のための奉仕活動を主体的に始めます。地元高校のボランティア日本語教師として使ってもらうように交渉し行動を起こします。その後、タイのロータリークラブ会長を務めるなど、本格的に人道支援活動を始め、現在も日本各地のロータリークラブ、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブと連携し、支援の輪を広げています。原田氏は「輝く瞳に会いに行こう」と著書に記し、ロータリー会員として充実した人生を歩んでいるお一人だと思います。

さて、「ロータリーの目的」には、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と謳われています。私たち会員は、この目的を受け入れ、ロータリー会員になりました。原田氏のように定年退職後に奉仕活動を本格化していく会員はまさに、ロータリー会員の鑑だろうと思います。なぜならば、定年退職は「職業」を終了することです。会社員時代にその職業を励むことを奉仕としているわけではありません。職業を離れてもなお、ロータリー会員として奉仕の理念の実践に情熱を燃やしていらっしゃいます。ロータリーの目的に立ち返り、新鮮な思いで奉仕の理念の実践に向かわれることを心から期待しています。

委員長就任にあたって



社会奉仕委員会
委員長

清水 隆 (千葉若潮 RC)

社会奉仕委員会では、地域社会に於いて「ロータリーの目的」に沿った奉仕活動を行っていくことが「より良い社会」を作るための活動と考えております。

今に至るそれぞれの地域で、各クラブが草の根の奉仕活動を積み重ねてきたと思いますが、その根が今の様に成長し、現在どのようになっているか現地調査を

おこなっていますでしょうか？ 奉仕プロジェクト実施完了で終わらせるのでは無く、次に繋がる為の調査や現状把握などを考えて頂き、各クラブに於いて会員の参加活動を主軸として各委員会及びクラブ全体で検討する必要性があるのではないかと考えております。

より良い「奉仕活動」にするには、クラブ全体で奉仕プロジェクトの基本を検証し取り組む事により、本来のあるべき姿が見えてくるのではないのでしょうか。

それは次に繋がる単年度の永続であり、継続的奉仕プロジェクトとなって地域に深く密着する事になり、より良い奉仕活動に広がって行くと思っています。



職業奉仕委員会
委員長

鵜沢 和広 (千葉若潮 RC)

今年度の地区職業奉仕委員会はこれまで日本のロータリークラブの中で語られてきた職業奉仕についての考え方を大きく変えて行く事を目標としています。PETS や地区研修協議会でもご説明して参りました通り、ロータリーの第二の奉仕部門である職業奉仕は五大奉仕の

ひとつの奉仕部門であり、ロータリーの奉仕活動の根幹であるかのように位置づけるべきではないということです。今まで日本で語られてきた職業奉仕論は職業倫理論であって世界のロータリアンの職業奉仕に対する認識と大きくかけ離れています。全世界のロータリークラブは一つの基本理念『奉仕の理念』を持っており、それは他人のことを思いやり、他人の助けになることをするという思いです。奉仕の理念を提唱・奨励し、目に見える奉仕活動を積極的に行っていきましょう。



国際奉仕委員会
委員長

高橋 潤一 (新千葉 RC)

ロータリーの第4奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員して

くる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1933年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。

2度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリーは、1945年には米国合衆国国務省から要請を受けて、49名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。これはロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動でしょう。

委員長就任にあたって



青少年奉仕委員会
委員長

金本 元章（柏西 RC）

本年度、橋岡ガバナーは、新たに青少年育成統括委員会を立ち上げられ、インターアクト、ローターアクト、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、青少年交換などの各委員を移行しました。新たに、奉仕プロジェクト統括委員会内に、私たちの青少年奉仕委員会を立ち上げました。地区内83クラブの皆様が、青少年奉仕活動をより一層元気にするための委員会としてスタートしました。次世代を担う、子ども・若者すべての青少年の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするためにロータリアンの全員がもっと関わるべき奉仕活動ではないのでしょうか。

今回の、奉仕プロジェクト統括委員会によるアンケート（奉仕プロジェクト関わる実態調査）の集計結果によりますと、各クラブともロータリーの理念に沿った活動を実施しており、青少年に対する奉仕活動も一定の成果を上げていますが、一部の領域で硬直化が進み会員の意識のばらつきが見られ、結果から浮き彫りにされた第2790地区の問題点は、第一に青少年奉仕活動やプログラムに対する関心が薄く、全会員が

興味を示すあるいは、会員の顔の見えない会員不在の運営では、なかったのか、会員が目的や役割も理解していないことが多いのではないのでしょうか。地域で単に世間から要望されているからとか、今まで実施してきたからとか、前例主義や総花主義の「伝統」やクラブの運営の形骸化・硬直化を打破し、それぞれクラブの所在する青少年のニーズを的確に把握し、新しい取り組みに皆様の経験を生かして下さい。とくに青少年奉仕活動は途切れずに続けることが、少しずつ努力を重ねることが大切であると考えます。

次に、不幸な自然破壊により、就学の道を閉ざされた青少年に対して、未来に繋げる支援活動を行っております。ロータリー希望の風奨学金の詳しい内容は、第2790地区のホームページに希望の風「風の便り」にて、現況報告が毎月更新されております。本年度は実務はガバナー事務所となっておりますが、当委員会が窓口となり継続して支援活動を推進しております。最後に、青少年奉仕活動をより一層元気にするために支援を惜しまない所存であります。地区内各クラブの皆様の活躍を祈念申し上げます。

※「2013年のR.I.規定審議会に於いて、ロータリーの新世代奉仕部門を青少年奉仕部門と称することが採択されました。」原文も「New Generations Service」から「Youth Service」に変わりました。

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま222号）

今月のトピックス

- ・理事会・評議員会報告 — 役員改選で新理事長就任 —
- ・GETSでよねやま親善大使がスピーチ
- ・寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —
- ・2地区協同で一級河川の清掃活動
- ・台湾学友会による日本人への奨学金が10年目

《今月のピックアップ記事》

理事会・評議員会報告 — 役員改選で新理事長就任 —

下記の通り、理事会および定時評議員会を開催しました。

●第二十回理事会：8月21日開催（主な議題等の詳細は、ハイライト本文をご覧ください）

●第九回評議員会：9月6日開催（主な議題等の詳細は、ハイライト本文をご覧ください）

理事会および評議員会の前には、直前R.I.理事としてご列席の斎藤直美氏から「米山記念奨学会の意義」について、また、（公財）米山梅吉記念館理事長であり、当会評議員である積惟貞氏から「米山梅吉記念館創立50周年記念事業」についてのお話をいただきました。

各会議終了後には、それぞれ退任される理事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く小沢一彦氏から最後のごあいさつを頂きました。

評議員会終了後のセレモニーでは、斎藤直美氏から小沢一彦氏に感謝状が贈呈されました。

●第二十一回理事会

評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、次の通り役員が選定されました。

理事長：斎藤直美氏（2760）

副理事長：塙 東男氏（2820） 若林紀男氏（2660）

常務理事：武田和夫氏（2800） 山崎淳一氏（2830）

水野 功氏（2750） 滝澤功治氏（2680）

名誉理事長：小沢一彦氏（2780）

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight222_pdf.pdf

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

メジャードナー



長田 研自
(千葉 RC)



石川 邦紘
(成田コスモポリタン RC)



寺嶋 哲生
(柏 RC)



諸岡 靖彦
(成田 RC)
9 回目



日暮 肇
(柏西 RC)
8 回目



高橋 宏資
(銚子 RC)
7 回目



杉山 芳夫
(習志野 RC)
6 回目



村島 義則
(成田コスモポリタン RC)
4 回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新ポール・ハリス・フェロー



石田 喜一
(成田空港南 RC)
3 回目



齊藤 三智夫
(成田 RC)
3 回目



中島 広明
(習志野中央 RC)
2 回目



鈴木 荘一
(君津 RC)
2 回目



青 柳 誠
(成田空港南 RC)
1 回目



杉森 幹男
(成田空港南 RC)



長谷川 浩史
(成田コスモポリタン RC)

ベネファクター

ポリオ・プラス



板橋 良夫
(船橋みなと RC)



鈴木 桂三
(柏西 RC)



鈴木 子郎
(柏西 RC)



長田 研自
(千葉 RC)



小寺 真澄
(成田 RC)



成田 温
(成田 RC)

米山功労者



石川 邦紘
(成田コスモポリタン RC)
70 回目



相澤 友夫
(船橋東 RC)
50 回目



木村 貞夫
(銚子東 RC)
18 回目



板橋 良夫
(船橋みなと RC)
14 回目



竹尾 白
(千葉南 RC)
11 回目



諸岡 靖彦
(成田 RC)
11 回目



鈴木 桂三
(柏西 RC)
8 回目



高田 一行
(成田空港南 RC)
6 回目



成田 温
(成田 RC)
6 回目



渡邊 直道
(館山ベイ RC)
5 回目



杉山 芳夫
(習志野 RC)
4 回目



相川 修
(松戸西 RC)
4 回目



富 一 美
(成田空港南 RC)
4 回目



杉 晟
(八千代 RC)
3 回目



井本 良三
(習志野中央 RC)
2 回目



上原 広嗣
(成田空港南 RC)
2 回目



伊東 弘樹
(習志野中央 RC)
1 回目



鈴木 照夫
(館山ベイ RC)
1 回目

新ロータリアン（敬称略）



山本 沖
(松戸西 RC)
税理士
6 月 26 日入会



磯部 浩太
(千葉港 RC)
生花販売
7 月 2 日入会



大原 秀顕
(千葉港 RC)
OA 機器販売
7 月 2 日入会



范 大 東
(千葉港 RC)
建築工事
7 月 2 日入会



林 晋 也
(船橋みなと RC)
弁護士
7 月 3 日入会



中垣内 浩
(鴨川 RC)
水族館
7 月 3 日入会



米山 信義
(鴨川 RC)
地方銀行
7 月 3 日入会



片山 祥吾
(千葉中央 RC)
生命保険
7 月 5 日入会



堤 信 二
(我孫子 RC)
貯蓄銀行
7 月 10 日入会



木下 恭子
(市原 RC)
サービス業(買取・売却業)
7 月 16 日入会



深山 友和
(市原 RC)
商業(生花)
7 月 16 日入会



日暮 保巳
(我孫子 RC)
税理士
7 月 17 日入会



梶 陽 介
(我孫子 RC)
観光バス
7 月 17 日入会



佐藤 昭仁
(新千葉 RC)
証券業
8 月 2 日入会



末吉 弥和
(千葉南 RC)
歯科診療所
8 月 3 日入会



高橋 豊
(千葉南 RC)
経営コンサルタント業
8 月 3 日入会



小河原 仁
(袖ヶ浦 RC)
火力発電
8 月 6 日入会



大塚 和久
(銚子東 RC)
地方銀行
8 月 7 日入会



廣田 光司
(千葉 RC)
国際奉仕団体
8 月 20 日入会



市川 隆司
(千葉 RC)
建築設計
8 月 20 日入会



櫻井 宇人
(千葉 RC)
飲料販売
8 月 27 日入会



石毛 正明
(銚子東 RC)
公益社団法人
8 月 28 日入会



堀井 猛志
(松戸 RC)
電気工事
8 月 29 日入会



高山 一佳
(船橋 RC)
商業銀行
9 月 4 日入会



室岡 紀夫
(成田コスモポリタン RC)
金融・信用金庫
9 月 5 日入会



板垣 健
(千葉若潮 RC)
ソフトウェア業
9 月 6 日入会



谷内 久徳
(松戸 RC)
建設業 / 請負
9 月 19 日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2018 年 8 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	96.65	2	35	0	38	1	3
	市川東	100	2	42	2	42	2	0
	市川南	78.57	2	21	2	21	2	0
	浦安	91.4	3	44	1	44	1	0
	市川シビック	82.92	3	32	0	33	0	1
	浦安ベイ	78.5	3	15	0	15	0	0
	平均	88.01	2.50	31.50	0.83	32.17	1.00	4
第2グループ	船橋	92.22	3	30	0	30	0	0
	船橋西	77.3	4	41	7	42	7	1
	鎌ヶ谷	84.4	4	32	2	32	2	0
	船橋東	80.38	4	29	3	29	3	0
	船橋南	92.59	4	14	1	14	1	0
	船橋みなと	91.89	3	18	4	19	4	1
	平均	86.46	3.67	27.33	2.83	27.67	2.83	2
第3グループ	千葉葉	90.94	3	85	4	91	4	6
	新千葉	74.8	3	49	0	55	0	6
	千葉西	77.81	2	51	4	54	4	3
	千葉中央	90.88	3	31	0	32	0	1
	千葉幕張	65.76	3	36	3	37	3	1
	千葉東	74.81	2	28	2	30	2	2
	千葉若潮	68.97	4	32	1	32	1	0
	平均	77.71	2.86	44.57	2.00	47.29	2.00	19
第4グループ	千葉南	68.06	4	45	6	49	7	4
	市原	69.04	2	48	3	52	4	4
	千葉港	64	2	24	3	27	3	3
	市原中央	78.5	3	50	1	50	1	0
	千葉北	74.78	3	27	3	28	4	1
	千葉緑	88.42	2	23	1	23	1	0
	平均	73.80	2.67	36.17	2.83	38.17	3.33	12
第5グループ	木更津	81.4	2	28	4	32	5	4
	上総	56.6	4	15	0	15	0	0
	富津中央	73.6	3	33	1	34	1	1
	木更津東	85.86	3	47	3	49	3	2
	君津	98.21	3	58	4	58	4	0
	袖ヶ浦	93.22	3	24	4	25	4	1
第6グループ	富津シティ	76.6	4	15	1	13	0	△2
	平均	80.78	3.14	31.43	2.43	32.29	2.43	6
第7グループ	館山	80.55	4	46	3	48	5	2
	鴨川	78.22	3	34	5	34	5	0
	勝浦	92.85	3	39	4	42	5	3
	千倉	50	3	5	2	6	2	1
	鋸南	85.71	3	14	1	14	1	0
	館山ベイ	72.62	4	22	0	22	0	0
第8グループ	平均	76.66	3.33	26.67	2.50	27.67	3.00	6
	茂原	82.46	3	62	5	63	4	1
	東金	89.58	3	15	1	17	1	2
	大原	90	4	10	1	9	1	△1
	大多喜	66.66	3	7	1	7	1	0
	成田空港南	75.14	2	32	0	32	0	0
	茂原東	77.4	4	22	1	22	1	0
	茂原中央	67.39	4	22	2	23	2	1
	大網	75.81	4	31	1	31	1	0
	東金ビュー	70	3	20	1	20	1	0
	平均	77.16	3.33	24.56	1.44	24.89	1.33	3

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	83.54	4	40	3	40	3	0
	旭	53.25	4	45	4	46	4	1
	八日市場	66.6	3	37	2	40	3	3
	銚子東	85.06	3	29	2	32	2	3
	平均	72.11	3.50	37.75	2.75	39.50	3.00	7
第9グループ	佐原	69.5	3	50	0	50	0	0
	多古	83.33	3	17	0	17	0	0
	小見川	90.4	2	24	0	26	0	2
	佐原香取	76.67	3	24	1	24	1	0
	平均	79.98	2.75	28.75	0.25	29.25	0.25	2
第10グループ	成田	71.38	4	72	5	71	4	△1
	八街	88.24	3	29	3	32	3	3
	印西	56.37	4	20	0	20	0	0
	白井	61.9	3	14	1	14	1	0
	富里	73.56	3	29	0	29	0	0
第11グループ	成田コスモポリタン	67.01	4	68	0	70	0	2
	平均	69.74	3.50	38.67	1.50	39.33	1.33	4
第12グループ	柏	70.57	4	65	10	67	10	2
	我孫子	89.65	3	27	2	29	2	2
	柏西	83.84	4	67	3	68	3	1
	柏東	79.36	3	41	9	43	9	2
	柏南	72.3	3	41	6	40	6	△1
第13グループ	平均	79.14	3.40	48.20	6.00	49.40	6.00	6
	習志野	78.78	3	23	2	24	2	1
	八千代	86.68	3	51	0	51	0	0
	倉	67.97	4	31	3	32	3	1
	八千代中央	80.6	2	22	1	22	1	0
第14グループ	四街道	73.99	3	26	3	28	3	2
	習志野中央	70.72	3	49	4	50	4	1
	佐倉中央	75	3	22	6	24	7	2
	平均	76.25	3.00	32.00	2.71	33.00	2.86	7
	松戸	92.39	4	58	0	60	0	2
第15グループ	松戸東	89.29	4	47	0	48	0	1
	松戸北	77.4	4	40	0	40	0	0
	松戸中央	77.59	4	42	7	43	7	1
	松戸西	85.06	3	29	0	29	0	0
	平均	84.35	3.80	43.20	1.40	44.00	1.40	4
第16グループ	野田	80.67	3	52	7	52	7	0
	流山	67.85	4	14	3	14	3	0
	野田東	74.87	4	21	0	21	0	0
	流山中央	85	3	23	2	22	2	△1
	野田セントラル	77.09	4	25	1	25	1	0
第17グループ	平均	77.10	3.60	27.00	2.60	26.80	2.60	△1

クラブ数 83RC		
2018 年 7 月 1 日	地区会員数	2,797 人
2018 年 8 月 末日	地区会員数	2,878 人
2018 年 7 月 1 日	地区女性会員数	188 人
2018 年 8 月 末日	地区女性会員数	195 人
当月平均出席率		79.05%
増減		+81
女性会員増減		+7

物故会員（啓略略）



君塚 七郎（勝浦 RC）
 逝去日：2018 年 8 月 21 日（享年 84 歳）
 入会日：1974 年 11 月 1 日

ロータリーレート通達の都合により
 ガバナー月信 11 月号の発送は
 11 月 2 日を予定しております。

10 月のロータリーレート

112 円

【今月の表紙】 マザー牧場(写真提供 マザー牧場)

富津市にある「マザー牧場」は、標高300mの鹿野山の頂上に位置し、房総半島の山々や東京湾、富士山などの雄大な景色をお楽しみいただけます。

10月中旬までは30万本のサルビアが、10月下旬までは200万本のコスモスが広大な山の斜面を彩る他、10月27日から2月24日まではイルミネーション「マザー牧場 光の花園」を開催し、夜の牧場を色鮮やかな光の花で包み込みます。

ガバナー公式訪問報告

松戸北RC(8月1日)



松戸東RC(8月3日)



市川シビックRC(8月20日)



浦安ベイRC(8月23日)



木更津東RC・君津RC・富津シティRC 合同(8月22日)



我孫子RC・柏西RC 合同(8月24日)

